

『久利・大屋地区住民ワークショップ』

の成果報告を行いました

令和4年11月に久利・大屋地区の18歳以上の住民を対象としたワークショップを開催。その内容について成果報告書にまとめ、両地区に全戸配布しました。



今後も、小さな拠点づくりに関する活動状況を発信し、住民の地域への関心を高めていきたいと考えています。

久利・大屋地区 小さな拠点推進協議会だより 2a
久利・大屋地区ワークショップ開催!
11月13日(日) 大屋まちづくりセンター / 23名の皆さまにご参加いただきました!

5年、10年後の理想のな地域

生活の質
・高齢者が安心して暮らせる環境づくり
・子育て世代が安心して子育てができる環境づくり
・地域で暮らす人々の生活の質を向上させる

地域の魅力
・自然環境を活かした観光・レジャーの場づくり
・伝統文化や歴史を大切にしたまちづくり
・地域で暮らす人々の生活の質を向上させる

高齢者の暮らし
・高齢者が安心して暮らせる環境づくり
・高齢者が安心して暮らせる環境づくり
・高齢者が安心して暮らせる環境づくり

子育ての安心
・子育て世代が安心して子育てができる環境づくり
・子育て世代が安心して子育てができる環境づくり
・子育て世代が安心して子育てができる環境づくり

地域のつながり
・地域で暮らす人々の生活の質を向上させる
・地域で暮らす人々の生活の質を向上させる
・地域で暮らす人々の生活の質を向上させる

地域の広がり
・地域で暮らす人々の生活の質を向上させる
・地域で暮らす人々の生活の質を向上させる
・地域で暮らす人々の生活の質を向上させる

防災・安全
・地域で暮らす人々の生活の質を向上させる
・地域で暮らす人々の生活の質を向上させる
・地域で暮らす人々の生活の質を向上させる

健康・福祉
・地域で暮らす人々の生活の質を向上させる
・地域で暮らす人々の生活の質を向上させる
・地域で暮らす人々の生活の質を向上させる

人口・まちづくり
・地域で暮らす人々の生活の質を向上させる
・地域で暮らす人々の生活の質を向上させる
・地域で暮らす人々の生活の質を向上させる

未来を考える井戸端会議(執筆)
・地域で暮らす人々の生活の質を向上させる
・地域で暮らす人々の生活の質を向上させる
・地域で暮らす人々の生活の質を向上させる

参加者へのアンケートより
・地域で暮らす人々の生活の質を向上させる
・地域で暮らす人々の生活の質を向上させる
・地域で暮らす人々の生活の質を向上させる

久利地区ワークショップ
11月27日(日) 大屋まちづくりセンター / 11名の皆さまにご参加いただきました!

理想のな地域のために考えたいこと、チャレンジしたいこと

生活の質
・高齢者が安心して暮らせる環境づくり
・子育て世代が安心して子育てができる環境づくり
・地域で暮らす人々の生活の質を向上させる

地域の魅力
・自然環境を活かした観光・レジャーの場づくり
・伝統文化や歴史を大切にしたまちづくり
・地域で暮らす人々の生活の質を向上させる

高齢者の暮らし
・高齢者が安心して暮らせる環境づくり
・高齢者が安心して暮らせる環境づくり
・高齢者が安心して暮らせる環境づくり

子育ての安心
・子育て世代が安心して子育てができる環境づくり
・子育て世代が安心して子育てができる環境づくり
・子育て世代が安心して子育てができる環境づくり

地域のつながり
・地域で暮らす人々の生活の質を向上させる
・地域で暮らす人々の生活の質を向上させる
・地域で暮らす人々の生活の質を向上させる

地域の広がり
・地域で暮らす人々の生活の質を向上させる
・地域で暮らす人々の生活の質を向上させる
・地域で暮らす人々の生活の質を向上させる

防災・安全
・地域で暮らす人々の生活の質を向上させる
・地域で暮らす人々の生活の質を向上させる
・地域で暮らす人々の生活の質を向上させる

健康・福祉
・地域で暮らす人々の生活の質を向上させる
・地域で暮らす人々の生活の質を向上させる
・地域で暮らす人々の生活の質を向上させる

人口・まちづくり
・地域で暮らす人々の生活の質を向上させる
・地域で暮らす人々の生活の質を向上させる
・地域で暮らす人々の生活の質を向上させる

未来を考える井戸端会議(執筆)
・地域で暮らす人々の生活の質を向上させる
・地域で暮らす人々の生活の質を向上させる
・地域で暮らす人々の生活の質を向上させる

参加者へのアンケートより
・地域で暮らす人々の生活の質を向上させる
・地域で暮らす人々の生活の質を向上させる
・地域で暮らす人々の生活の質を向上させる

令和5年1月大田市広報にあわせて配布した成果報告書
(左：表面・右：裏面)

特集 | 両地区住民ワークショップ開催!

令和4年11月に久利・大屋の両地区で、地区の未来について考える住民ワークショップを開催しました。今号では住民の皆さんからいただいた数多くのアイデアの中から一部をご紹介します。

大屋地区ワークショップ開催報告

11月13日(日) @大屋まちづくりセンター
23名の皆さまにお集まりいただきました!

議題1. 5年、10年後の理想的な地域

生活交通

- 高齢者の移動**
 - 車のない人が利用しやすい移動手段
 - 高齢者が自由に利用できる交通網
- 利便性・快適性の高い運行サービス**
 - 目的別の交通手段
- 道路環境**
 - 主要道路だけでなく個人宅への道路整備
- 先進モビリティを活用した移動手段**
 - グリーンスローモビリティ、トゥクトゥク等の小型車両



地域の拠点

- 買い物できる場所**
 - 大屋・大國・鬼村に一つつお店がある
- 高齢者、子どもの居場所**
 - 年をとっても自分の得意な事を活かせる場所
 - 子どもたちの親が帰ってくるまでの居場所
- 憩いの場**
 - 10年後も今の自然が残る、ゆったりできる場
 - 大屋町全体を自然公園に、誰もがゆったりできる癒しの場(自然を活かした建物、公園)
- 交流、娯楽の場所**
 - 誰でも思いついた時に集まれる場所
- 産直市場の活用**
 - 年を重ねても地域のものづくり、特産品づくりに関わる場

高齢者、子どもの生活、見守り

- 高齢者の見守り**
 - 独居老人を見守る体制づくり
- 子どもの見守り**
 - 久屋小を大田小に統合(子どもの成長は少人数教育も良いが、多人数の方がより効果的だと思う)

地域の行事、交流、助け合い

- 行事**
 - 町の行事の活性化
- 助け合い**
 - 独居者の住宅団地の設置(一地域に住む)

地域の広報・情報発信

- 情報発信**
 - 大屋HPの活用



獣害対策

- 獣害被害の防止対策**
 - 鳥獣被害減のモデル地域



インフラ・環境整備

- 環境整備**
 - Uターンがしやすくなる環境(雇用・インフラ)を
- ネット環境、ICT活用**
 - どこでも携帯の電波が入るように
- 医療**
 - 各家庭を回るナース、診療所がある
 - 住民が全員健康で元気

地域資源・産業の活用

- 地域資源の活用**
 - 貸し農地を整備し提供する
- 特産品開発・販売**
 - タケノコ缶詰作りの研修会を開き、後継者と地域の魅力発信
 - アカメガシワ茶の普及



住宅・土地(空き家)活用

- 空き家の活用**
 - 空き家を改修して、帰省者や外部の人の宿にする
- 住宅地の整備**
 - 集落移転を行い、明るくみんなが集って暮らせる住宅を建設する
- 農地整備、地域農業の継続の仕組み**
 - 共同農場の整備(自治会単位が数軒で一か所あれば)
 - 未利用田畑の外部の人の利用

雑草対策

- 人材、体制づくり**
 - 除草剤散布機の協働利用
- 道路の草刈り**
 - 草刈り支援の拡大(家の周りだけでなく道路沿いを)

災害対策

- 危険箇所の整理**
 - 地すべり対策

人口増加・人口減少対策

- 地域の人口**
 - 人口減少をゆるやかにすること



安藤副会長より

大屋町は人口が急激に減少し、高齢化率は市内で最も高く60%を超えています。どうしても高齢者中心で物事が進みます。ワークショップで「自然豊かで穏やか、市街地へは近い、ちょっとした不便はあるが、住みやすい。でも携帯電話がこの地区でも繋がる環境が必須」という若い世代の発言にハッと気づかされました。まちづくりセンターでも電話が繋がらないという現実。数少ない若者の発想をもっと優先的に取り入れていかなければいけないと痛感しました。



議題2. 理想的な地域のために考えたいこと、チャレンジしたいこと

生活交通

- 高齢者の移動**
 - 無人モノレール
- 道路環境**
 - 道路未拓大区の整備

獣害対策

- 鳥獣を活用する施策**
 - イノシシの加工
- 獣害被害の防止対策**
 - 雅ねえの研修を受ける(美郷町)
 - 地域農耕計画の設立(地域の共同農地)



地域の拠点

- 買い物できる場所**
 - まちづくりセンターにコンビニ・売店をつくり地域で運営
- 高齢者、子どもの居場所**
 - 旧保育園を活用したカフェ(特産品活用)
- 産直市場の活用**
 - 産直市場の開設
- 憩いの場**
 - 地域・地区ごとに整備計画を立て公園化する
 - ポランディアを募り環境整備をする
- 交流、娯楽の場所**
 - 曜日を決めてコーヒー、お菓子などを出す
 - そこに行ったらだれかいるという環境をつくる
- 大屋保育園跡地の有効活用(多目的に利用できる場所)**
 - 体の動かし方の指導、ジム、整体教室
 - OB教師による学習塾、読み聞かせ
 - 福祉弁当を食べる場にする(送迎付き)
 - コンビニ+買い物の受け渡し場
 - 誰でも利用できるカフェ・食堂の開設

インフラ・環境整備

- 医療**
 - 通院のための移動手段
 - 健康でいるために運動



地域資源・産業の活用

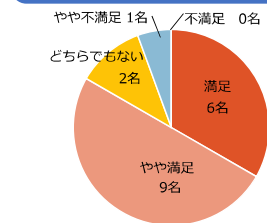
- 地域資源の活用**
 - 新規就農の前段階(チャレンジ、おためしの場)
 - 特産品開発・販売
 - 大屋の特産品を作る人・買いたい人をつなぐ

住宅・土地(空き家)活用

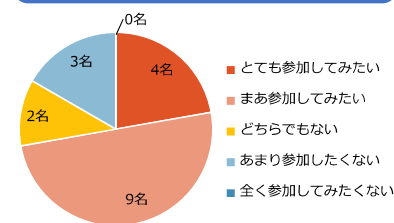
- 空き家の活用**
 - 空き家を帰省者の宿泊スペースとして活用
 - 空き家の無償譲渡
- 農地整備、地域農業の継続の仕組み**
 - 共同農地を整備して地域外の人にリースする
 - 休耕田畑の長期利用者・貸し出し者調査

参加者へのアンケートより 回答者の構成: 男性11名、女性8名 計19名

1. ワークショップの内容について



2. 地域活動にこれからも参加したいか



なんだか
明るい未来が
少し見えた気がする。

地域の方と
顔を合わせて
話せて良かった。

未来を考える井戸端会議(若者)

12月4日(日)にはワークショップに参加できなかった若手の皆さんとの意見交換会が開催され、日ごろ地域活動に参加いただいている方々から様々な意見が寄せられました。



- 携帯電話の電波が弱く生活に困っている
- 旧保育園を有効利用すべきである
- 大屋おたすけ隊の草刈機の一部を使いやすい機種に交換する
- 移住者の受け入れ体制の整備をして募集することが必要
- 防犯灯が少なく子どもの安全が確保できない
- 農地保全と荒廃地を防ぐ対策が必要
- 農道は整備されているが、県道、市道の一部が未整備である
- 自主防災組織なども必要である

久利地区ワークショップ開催報告

11月27日(日) @久利まちづくりセンター
50名の皆さまにお集まりいただきました!

議題1. 5年、10年後の理想的な地域

生活交通

- 子どもの移動**
 - 親が送迎できない代わりにお助け運転できる助っ人
- 高齢者の移動**
 - 体が不自由になっても生活に困らない
- 生活に必要な移動**
 - 車の運転ができなくても食料や日用品が買える、移動ができる
- 持続可能な交通**
 - 通学・生活交通を守っていく
- 利便性・快適性の高い運行サービス**
 - 奥の地区でも行き来ができるバス・タクシー
 - 予約しなくて良い手段、気軽に乗れる(電話予約が難しい)

雑草対策

- 人材、体制づくり**
 - 草刈の助け合いのためのしくみ
 - 共有のナイフモアを揃える



災害対策

- 災害時の連携・対応**
 - 災害時の連絡手段や対処方法が確立されている

獣害対策

- 人材、体制づくり**
 - 駆除をする人、猟銃所持者の増加
- 獣害被害の防止対策**
 - ヒトデを利用したサル対策



地域の行事、交流、助け合い

- 交流の場**
 - 地域でお互いを知れる、距離が近づける場
 - 町外から参加してもらえるイベントがある
- 助け合い**
 - 各自治体にお助けポストを置く(住民が困っているコトを自由に投稿できる)
 - 自分もできるちょっとしたことをする
 - 若い人が負担なくまちづくりに参加できる、参画しやすい環境
- 行事**
 - だれもが参画できる行事

インフラ・環境整備

- ネット環境、ICT活用**
 - どこに行っても携帯の電波がある環境



地域の拠点

- 親子で利用できる場所**
 - 親子で利用できる食堂(共働きが多いため)
 - 子育てをみんなでする場
- 交流、娯楽の場所**
 - 若い人たちや、様々な世代が気軽に集まって交流できる場所
- 買い物できる場所**
 - コンビニのようなちょっとした買い物(生活に必要な最低限のもの)ができるお店
- 産直市場の活用**
 - 利益が出る産直にする

高齢者、子どもの見守り

- 高齢者の健康、生きがいづくり**
 - 高齢者の集うサロン、憩いの場づくり
- 高齢者の見守り**
 - 高齢者への声かけ隊・見守り隊
- 子どもの生活、見守り**
 - 子どもを地域で一帯で育てる
- 子どもの交流**
 - 外部交流の場



住宅・土地(空き家)活用

- 空き家の活用**
 - 空き地の有効活用(公園・カフェ等)
 - 農地整備、地域農業の継続の仕組み
 - 高齢者と若者が元気になるような農園が欲しい

人口増加・人口減少対策

- 移住・定住支援**
 - 移住する時に受け入れてもらえる雰囲気や環境づくり

地域の広報・情報発信

- 情報発信**
 - 地域、久屋小学校の良さを知ってもらう

地域資源・産業の活用

- 観光施設、場所**
 - 休日はだれでも利用できるキャンプ場を作る
- 企業・働く場**
 - 若い人が勤務できる
- 特産品開発・販売**
 - 地元の資源を生かした特産品づくりで企業

森山会長より

令和4年1月、全世帯を対象に「まちづくりアンケート」を実施しました。アンケートをより具体化するワークショップを開催し、小学校の児童、保護者を始め地域の女性や住民代表者から生の声を聞かせていただきました。ワークショップでは、「誰でも自由に出入りでき、各々が談笑でき、コーヒーや軽食が食べられるような場所が欲しい」「子供が走り回ったり、ゲームができる様な所が出来ないものか」等の意見が出され、熱い思いや期待をひしひしと感じました。何とか具現化をはからねばと感じたところです。



議題2. 理想的な地域のために考えたいこと、チャレンジしたいこと

生活交通

- 子どもの移動**
 - 地域内ファミリーサポートシステムの設立
- 生活に必要な移動**
 - 買い物代行
- 利便性・快適性の高い運行サービス**
 - 軽自動車でのコミュニティーカー
 - 自治体ネットワークSNS組織
- 持続可能な交通**
 - ボランティアを増やし現状の1人にかかる負担を減らす

雑草対策

- 人員・体制づくり**
 - お助け隊を広く募集(若者・協力者)
 - 草刈り機を買うのに1人あたり1万円を補助する

災害対策

- 災害時の連携・対応**
 - 災害時、緊急時の連絡、ネットワークの確立

住宅・土地(空き家)活用

- 空き家の活用**
 - 空き家の件数・状態の把握

地域の行事、交流、助け合い

- 交流の場**
 - 若い人達と共同作業したい・する
 - 久利まちセンターでのイベントを増やす
- 助け合い**
 - 各自治会館へ箱を設置する
 - 自分の時間を提供する(午後1時間とか登録)
 - 「役」の仕事内容を整理して、1人1人の負担を減らす
- 行事**
 - みんなが集まりやすいコミュニケーションのとれる面白い雰囲気づくり

地域の拠点

- 交流、娯楽の場所**
 - 各地区またはまちづくりセンターの中にサロンの場所を作る
- 買い物できる場所**
 - 大田で店をやっている久利出身の人が店を出してくれれば
- 産直市場の活用**
 - 産直カフェ

高齢者・子どもの見守り

- 高齢者の健康、生きがいづくり**
 - 各種団体作り
- 高齢者の見守り**
 - 見守りGPS、迷子札の衣類貼付け
- 子どもの生活、見守り**
 - 子どもにも役割を
- 子どもの交流**
 - インターネットを活用した交流

獣害対策

- 人員・体制づくり**
 - 駆除する人に養成する助成金を出す
- 獣害被害の防止対策**
 - ヒトデDeデンデンを活用する



地域の広報・情報発信

- 情報発信**
 - 久屋の強みを生かす
 - 他の町がやっていないようなことをやる

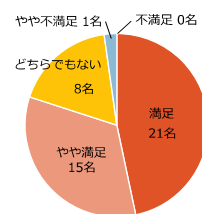
地域資源・産業の活用

- 観光資源、場所**
 - 亀淵周辺の総合開発
- 企業・働く場**
 - 久利町立の会社をつくる
- 特産品開発・販売**
 - 住民の中で加工グループをつくり農産品の販売をする

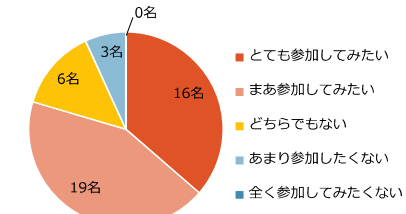
参加者へのアンケートより

回答者の構成: 男性32名、女性13名 計45名

1. ワークショップの内容について



2. 地域活動にこれからも参加したいか



このようなワークショップは
何度も開催し、PDCAを回す
ことが大切。

久利を
再認識する
ことができました。